

中日ニュース

シネスコ版

高知新聞列ニス 16314

本誌新聞

新愛媛新聞列ニス 16142

No. 479 38.3.22

甲子新聞列ニス 16111

カープ五連勝 錦糸 - 広島新阪急 - 広島) 124R
マンスン会 いく (代九州) 7 車輪のつた道加 107R

一、希望を胸に

—— 集団就職第一陣

—— 東京

東京の空が白々と明けかかる頃、今年も集団就職第一陣が上野駅に到着しました。この春中学を卒業したばかりの少年少女五百十人です。どの顔も真赤な頬には新しい門出の決意が溢れています。やがて雇い主さんたちにひきとられて、それぞれの職場へ散って行きます。お父さん、お母さんの期待に応え、しっかり頑張ってください。

一、“さあ新学期です”

—— 名古屋・大阪

腕白盛りの小学生は、宿題のない春休みが、最良の休みです。所が現在では、受験地獄とあって腕白盛りも難行苦業です。こうした中で受けに入るのが学習塾の先生です。時間を区切って八艘とびに駆けめぐります。また特にピッチをあげているのが学習塾の出版社です。

多種多様の学習書も、新学期をひかえて、各地へと送り出されます。腕白盛りも、本屋さんの店先では、マンガもそちのけで学習書に群がっている今日この頃です。いよいよ新学期を前にして一年生もテストブックを抱えては喜んでいきます。

アイモ風土記

一、地すべり地帯

—— 能生の惨事

—— 新潟

三月十六日の夕刻、新潟県能生町で幅二百メートルに及ぶ地すべりが発生。おびたらしい土砂は、あつという間に民家、三十四戸を一つにまとめてしまったのです。

血のような赤土の地肌をさらす魔の断崖、恐怖の一夜が明けるころ火の手はようやくおさまったものの、一面赤黒い泥とばらばらになった木片ばかり、いぜん地すべりの危険は去らず人びとは僅かの家財を背に逃げまどうばかりです。

だが、恐怖におのきなながらも、ぼつぼつ復興作業に手をつける人々です。貧しく、そして地すべり地帯という縮命を背負ったこの地にも人々は恐れと、厳しい生活との谷間の中で生きていかなければならないのです。

636R

351R

141R

140R